

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和6年4月18日(木)、6年生を対象に「令和6年度全国学力・学習状況調査」を実施いたしました。過日、札幌市教育委員会より市立小中学校分の調査の結果が発表されました。本校でも、調査の結果を分析し、課題及び改善の方向を検討し、結果をまとめましたのでお知らせいたします。

《小学校国語科》

### 本校の概要

#### 【領域】

- 「話すこと・聞くこと」
  - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。
  
- 「書くこと」
  - ・全国平均を上回る。
  
- 「読むこと」
  - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。
  
- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」
  - ・全国平均と同程度であるが、やや下回る。
  
- 「我が国の言語文化に関する事項」
  - ・全国平均を下回る。

### 今回の調査における課題

- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。
  
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり表現の効果を考えたりすること。
  
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うこと。
  
- 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付く。

### 改善の方向

- 話し合いや発表の場において、資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫する学習の充実を図る。
  
- 物語、伝記などを読み、内容を説明したり自分の考えたことを伝え合ったりの充実を図る。
  
- 読書などで文中での漢字の使い方に慣れ、小テストなどでのこまめな習熟や文作りなどで漢字を使う学習の充実を図る。
  
- スタートタイムでの読書活動の充実や学校図書館の整備などを図る。

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p><b>【領域】</b></p> <p>□「数と計算」 ・全国平均と同程度であるが、やや下回る。</p> <p>□「図形」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。</p> <p>□「変化と関係」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。</p> <p>□「データの活用」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。</p>	<p>●除数が小数である場合の除法の計算をすることができる。</p> <p>●球の直径の長さと同立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができる。</p> <p>●道のりが等しい場合の速さについて時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。</p> <p>●速さの意味について理解している。</p> <p>●折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できる。</p>	<p>○基礎・基本の計算の定着や小数についての意味理解を深める学習の充実を図る。</p> <p>○立方体や直方体の体積の求め方の理解や体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考え学習の充実を図る。</p> <p>○異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考える学習の充実を図る。</p> <p>○速さなど単位量当たりの大きさの意味や表し方について理解を深める学習の充実を図る。</p> <p>○いろいろな項目の表やグラフに触れ、そこから読み取ったことを表現する学習の充実を図る。</p>

## 【学習状況調査】

### 全国と比較して、肯定的な回答

○学校に行くのは楽しいと思いますか。

学校に対して肯定的な気持ちを持ち続けられるよう、これからも子どもたちがそれぞれもつ力を発揮できる環境を整えていく。

○毎日、同じくらいの時間に起きていますか。

生活リズムが整っていることで学習意欲などに繋がっていると感じられる。今後も家庭と連携しながら生活リズムを整えることの大切さについて伝えていく。

○分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

一人ひとりの特性や進度に合わせた学びや友達との協働的な学びの中で、課題解決能力を培っていきけるよう指導の充実を図っていく。

### 全国と比較して、否定的な回答

●困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。

悩みを抱え込まず、いつでも相談できるという安心感が生まれるよう、相談しやすい環境を整えていったり、スクールカウンセラーなどとの連携を図ったりしていく。

●「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか」の項目で週1回程度の項目が多い。

ICT を活用することで学習に対して楽しみながら取り組むことができると感じる児童が多いので、より多くの場面で活用し、学習の充実を図っていく。

●先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。

主体的・対話的で深い学びや協働的な学びの中で、自己解決したり友達とのやり取りの中で解決したりする場面が多く見られるが、その中でも一人ひとりの学びに合わせた指導ができるように取り組んでいく。